

東京大学とエボニック、Global Proprius21「ストラテジック パートナーシップ」を締結

最先端の材料技術開発をめざした共同研究や研究開発人材の育成・交流など、グローバルで幅広い視点から、新たな産学連携を目指す

2014年4月9日

国立大学法人東京大学(総長:濱田 純一/以下東京大学)とドイツのスペシャルティケミカル会社であるエボニック インダストリーズ(取締役会長:クラウス・エンゲル/以下、エボニック)は、2014年4月8日、Global Proprius21「ストラテジック パートナーシップ」を締結しました。

村田 智幸
日本におけるエボニック グループ
グループ コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7391
FAX 03-5323-7399
tomoyuki.murata@evonik.com

東京大学とエボニックは2011年7月から、東京大学産学連携本部の主導する「成果の見える共同研究」創出のための共同研究立案企画プログラム「Proprius21」での連携を開始し、その中から創出された複数分野の共同研究を通して最先端の材料開発に取り組み、成果を上げてきました。今後は Proprius21 の枠組みを発展させることで連携体制をさらに密にして、より広範囲にわたる研究分野での共同研究の創出に取り組みとともに、人材の育成や交流なども含めた幅広い連携の推進を開始します。東京大学においては欧州の大手化学系企業との、またエボニックにおいては日本の大学との初めての本格的な大型産学連携の開始となります。

秋葉 雅温
コーポレートイノベーション
ストラテジー&マネジメント
TEL 03-5323-7361
FAX 03-5323-8789
masaharu.akiba@evonik.com

今回の Global Proprius21「ストラテジック パートナーシップ」は5年間という長期にわたる取り組みで、新しい領域の開拓を含む世界的な視点から社会的ニーズに即した複数の研究テーマ発掘と、双方の研究施設を活用した産学共同研究の実施を図ります。同時に研究人材の学術交流や、次世代研究開発人材の育成などでも連携することで、グローバルな社会的価値の創出を推進していきます。

各務(かがみ) 茂夫
東京大学産学連携本部
イノベーション推進部
TEL 03-5841-1482
FAX 03-5841-1939
kagami.shigeo@mail.u-tokyo.ac.jp

筑(かけひ) 一彦
東京大学産学連携本部
イノベーション推進部
TEL 03-5841-2792
FAX 03-5841-1939
kakehi.kazuhiko@mail.u-tokyo.ac.jp

エボニック ジャパン株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

東京大学
〒113-0033
東京都文京区本郷 7-3-1
www.u-tokyo.ac.jp



写真キャプション:

4月8日、東京大学(本郷)にて
各務茂夫(東京大学産学連携本部 教授)、原田昇(東京大学 産学連携本部長)、
ピータ・ナグラー(エボニック インダストリーズ、チーフイノベーションオフィサー)、
ウルリッヒ・ジラー(日本におけるエボニック グループ代表) (左から)

東京大学について

日本最初の国立大学である東京大学は、1877年4月に東京開成学校と東京医学校を合併し創設されました。人文学と社会科学と自然科学にわたる広範な学問分野において知の発展に努め、世界最高水準の研究と充実した教養教育とを基盤として、多様で質の高い専門教育を学部と大学院において展開し、日本のみならず世界各地からも多くの学生を集めて、世界的教育研究拠点の役割を果たしています。

同時に、大学と社会とが連携して課題を発見・共有し、その解決を図るための科学技術の共創および本学における創造研究の成果の社会実装を通じて、社会へのイノベーションに繋がる様々な産学連携活動を積極的に推進しています。

エボニック インダストリーズについて

ドイツのクリエイティブな産業グループであるエボニックは、スペシャルティケミカルの世界的リーダーのひとつです。私たちの活動はヘルス・ニュートリション、エネルギー効率化、グローバリゼーションといった世界のメガトレンドに集中しており、企業の有益な成長と企業価値の持続的な増大は私たちが目指す戦略の大事な根幹となります。またエボニックは革新的なプロセスと統合的な技術プラットフォームを強みとしています。

エボニック インダストリーズは世界100ヶ国以上で活動しており、2012年度は33,000人以上の社員を有し、総売上高は134億ユーロ、償却前営業利益(Adjusted EBITDA)は24億ユーロを計上しました(不動産事業部門を含まず)。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AGおよび東京大学はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。